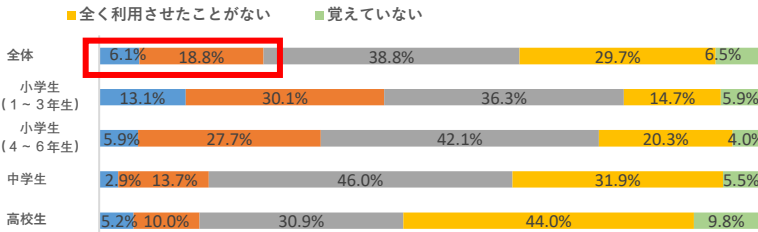


① 小中高生のスマートフォン所有状況 ② 未就学児期のスマホの利用状況

学職別比較

■毎日利用させていた ■ほぼ毎日利用させていた ■あまり利用させなかった

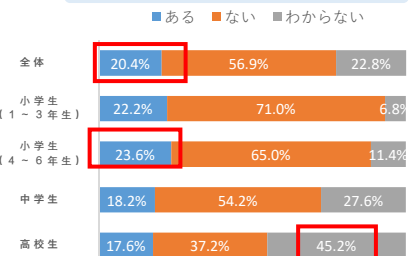


小学生(1~3年生)が
27.2%(±0)、
小学生(4~6年生)は
49.8%(+6.8)が所有

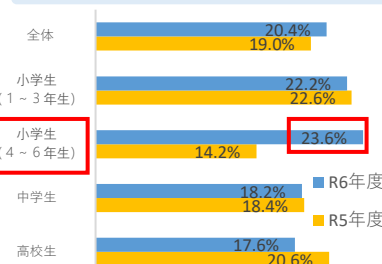
子供が未就学児期に保護者のスマホをほぼ毎日利用していたのは全体の**24.9%**

③ 子供と知らない人とのやり取り

知らない人とのやり取りの有無



知らない人とのやり取りの有無(過年度比較)



全体の**20.4%(+1.4)**の保護者が、「子供がSNS等で知らない人とやりとりしたことがある」と回答

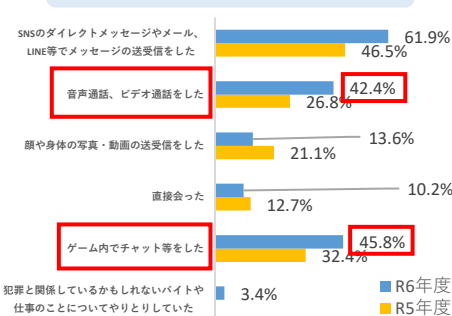
小学生(4~6年生)の**23.6%(+9.4)**が「やりとりしたことがある」と回答

そのうち、**42.4%(+15.6)**が「音声通話、ビデオ通話をした」、**45.8%(+13.4)**が「ゲーム内でチャット等をした」と回答

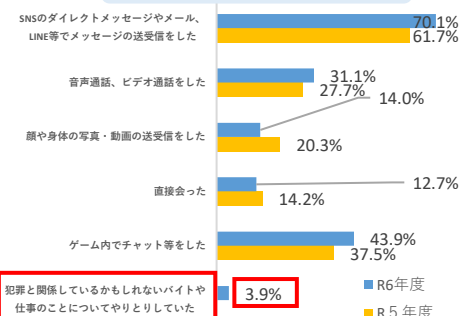
高校生の保護者の**45.2%**が知らない人とやり取りしているか「わからない」と回答

全体の**3.9%**が「犯罪と関係しているかもしれないバイトや仕事のことについてやりとりをしていた」と回答

知らない人とのやり取りの内容(小学生「4~6年生」)の過年度比較

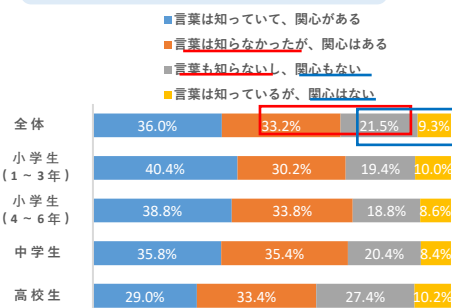


知らない人とのやり取りの内容(全体)の過年度比較

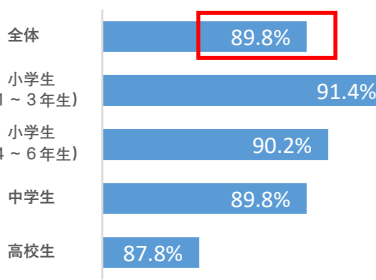


④ ペアレンタルコントロール関連

ペアレンタルコントロールの認知



スマホを持たせることに何らかの不安がある

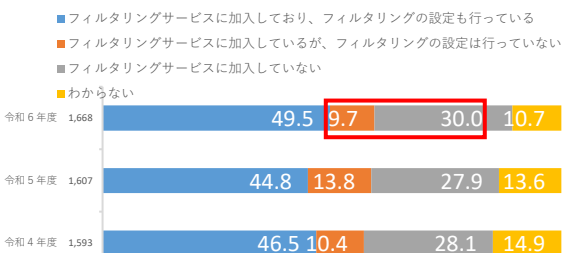


全体の**54.7%**が「ペアレンタルコントロールという言葉を知らない」と回答し、**30.8%**が「ペアレンタルコントロールに関心がない」と回答

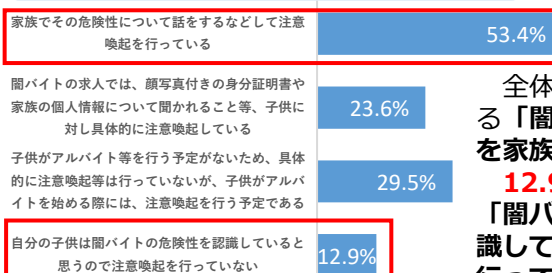
子供にスマートフォンを持たせることに関して**89.8%**の保護者は、何らかの不安があると回答

全体の**39.7%**が「フィルタリングを未設定」と回答

フィルタリングサービスの利用状況



闇バイトに対する保護者の注意喚起



全体の**53.4%**がいわゆる「闇バイト」の注意喚起を家族で話している、**12.9%**が自分の子供が「闇バイト」の危険性を認識しているので注意喚起を行っていない